

防止隊だより 令和6年4月号

特集1：CO₂見える化報告会を開催しました
特集2：第29回ぶらっきょろりんを開催しました
おしらせ：4月は再配達削減PR月間です

特集1：「CO₂見える化報告会」を開催しました

ゼロカーボンシティ岡崎のためにできることは？ 温室効果ガスの見える化の最前線を学ぼう！

地球温暖化防止には、二酸化炭素(CO₂)を始めとした温室効果ガスの削減が必要です。ところが大気中のCO₂は、無色・無味・無臭です。どこでどのくらいCO₂が増減しているのかは分かりません。そこで防止隊は、名古屋産業大学および賛助会員のグリーンフロント研究所(株)と産官学の連携で「岡崎市内のCO₂を見る化する」プロジェクトを始動。2021年から市役所駐車場などの市内3か所に計測装置を設置し、リアルタイムでCO₂濃度を測定し続けています。今年はプロジェクトの報告会を2月17日(土)に、せきれいホールで実施しました。

① まつたなし！！ 地球沸騰防止対策

まずはゼロカーボンシティ岡崎の実現に向け、国際的な動向の変化や身近な取組みを学びました。企業のCO₂排出実態について情報公開が義務づけられるといった世界的な仕組みができ、すでに運用されているとのことです。

CO₂の削減は「いつかしなくちゃ…」ではなく、待ったなしで考えなければいけないもの。見える化することで、物質的なCO₂量だけでなく、化石燃料に頼った社会システムの様子も見えてくる感じがしました。

② 濃度の実測データを利用した低炭素地域づくりのための市民科学プログラムの開発

市内3か所での計測結果は、まだ蓄積途中のようでしたが、地球温暖化の仕組み、風による異常気象の発生、CO₂濃度の計測方法といったプロジェクトの学問的な分野を学ぶことができました。特に印象的だったのは、約1億年前の恐竜がいた白亜紀時代のCO₂がもとになった化石燃料を、現在の私たちは燃やして生きているということ。そしてここ100年あまりの間にCO₂の濃度が4割も増えるという、地球の歴史上、例のない現象が起きているということです。土の中にあった太古のCO₂を大気中にどんどん排出した結果は、今まさに私たちの



生活の中で起きています。その状況の一端を知る手立てになるかもしれない、「CO₂濃度マップ」を実際に作成しました。計測機器があればだれでも簡単にできる方法で、名前の通り「市民科学プログラム」を体験することができました。

その後は会場のみなさまと意見交換を行いました。さらに当日は中根市長も来場され、一緒に報告や計測を楽しみ、最後には挨拶をいただくこともできました。ゼロカーボンシティに向けて、新たな環境教育の手法を学ぶことができた一日でした。

特集 2：第 29 回 「ぶらっきょろりん」を開催しました

ぶらぶら、きょろきょろ、歩いてみりん！ ～三河一向一揆の拠点を訪ねて～

2月18日（日）に実施した今回の「ぶらっきょろりん」は、昨年NHKで放映された大河ドラマ「どうする家康」にちなんだもの。三河一向一揆に所縁のあるお寺「妙源寺、上宮寺、淨珠院、勝鬱寺」を、ぶらぶらきょろきょろ、普段は歩くことのないような道を巡ってきました。

「どうする家康」放映後のお寺巡りということで、応募者も多く、当選した20名の方たちと一緒に歩きました。当日はくもり空ではありましたが、2月としては比較的暖かく、雨もふらない中での開催になりました。



次の目的地は上宮寺です。鹿乗川を渡る橋から白鷺を見たり、鯉を眺めたりしながら歩いていきます。

上宮寺は三河一向一揆の際に家康に対抗した、三河三カ寺のひとつです。当日は、納骨堂での行事が開催されており、天野委員長の説明を受けながら、皆さん熱心に耳を傾けてくださいました。実は上宮寺は1988年（昭和63年）の火災で本堂が焼失してしまい、近代的な建物になっています。その火事で火を浴びながらも焼け残つ

朝9時にJR西岡崎駅北口のロータリー付近に集合して、交通委員会の天野委員長より行程の説明、また織田代表よりイベントの趣旨説明を行いました。

初めに向かったのは妙源寺です。ここには国の重要文化財の太子堂（柳堂）があります。

一向一揆の際には家康公が本寺で難を逃れたそうです。奥へ進むと多くの三河武士の墓が残っており、参加者の方たちは柳堂やお墓を熱心に見学していました。



たイチョウの木が痛々しい姿で残っていました。幹の下部以外はほとんど枯れてしまっていますが、地面から「ひこばえ（伐った木の切り株などの根元から新たに生える芽のこと）」を元気よく伸ばした姿に、イチョウの生命力の強さを感じることができました。

上宮寺から浄珠院にかけては、田んぼの中を通過したり、ぐんぐんと渡橋を進んでいったりと、今回のコースの中ではもっとも長い距離を歩きました。渡橋の途中では、織田代表（岡崎野鳥の会元代表）による野鳥トークや、周りの山々をゆっくりと眺め、ふだんは歩かない道を歩き、地域の魅力を再発見・再認識してもらいましたが、自然環境の保全や地球温暖化防止について考えていただける時間になりました。

浄珠院は一向一揆の際に、家康自ら本陣を置き、指揮をとった場所だそうです。この境内の太子堂の前では和平が交わされ、三河統一の基礎を固めたといわれています。また境内には上宮寺と同様に、ふるさとの名木に選定された樹齢500年といわれるイチョウや、ふるさとの名木に選定されていましたが、手当の甲斐もなく枯れてしまったタラヨウ（別名：はがきの木）がありました。またその隣には後継樹があり、皆さん木の名前の由来に感心していました。



最後の目的地である、勝鬘寺も上宮寺と同様に三河三カ寺のひとつで、一向一揆の本拠であったお寺でもあります。激しい戦いの末、大伽藍（規模の大きな寺院のことをいう。）も兵火により焼失しました。再興された現在の本堂は1734年に建てられたものになります。

こうして三河一向一揆に所縁のある4つの寺院を巡った一行は、終着JR岡崎駅に到着することができました。

最後に参加者の皆さんから頂いたアンケート結果について少しご紹介いたします。回答では、このイベントが地球温暖化防止などの環境を考えたイベントであることを知っていた方が90%以上であり、「車より歩いた方が良い（景色）」や「ごみが道に落ちていなかった」という前向きな感想をいただくことができました。一方、普段の主な移動手段として自家用車を選択された方は80%以上になり、「自動車の使用は岡崎市内においてはまだまだシフトしていくことが厳しい現実である」というご意見もいただきました。それでも今後は可能な限り徒步・自転車・公共交通機関を利用したいという声をいただくこともできました。移動手段においては、各々の事情があるかと思いますが、その中でも環境への配慮をしていただき、できることから始めていけるようにしたいものですね。また興味が持てる企画で、皆さんをお待ちしております。

おしらせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール※

イベント名	日程	内容	実施部会
再発見！ 環境フォトコンテスト 2024	9月30 日(月) まで 募集中	岡崎市内の「緑」や「水辺」などの自然を題材とし、将来に残したい「いいところ」や今すぐ改善したい「わるいところ」の写真作品を募集しています。優秀作品には、賞状とQUOカードを贈呈予定です。奮ってご応募ください。(詳細はホームページをご覧ください。)	自然委員会

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を♪

おしらせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
4月11日（木）	19時～21時	ZOOMオンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
さくら部会	4月5日（金）	10時より開催	竜美丘会館
交通委員会	4月8日（月）	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	4月11日（木）	19時より開催	ZOOMオンライン開催
自然委員会	4月11日（木）	19時より開催	ZOOMオンライン開催

【取り組もう、再配達削減！！～4月は「再配達削減PR月間」！受取りは1回で！～】

皆さんは「2024年問題」を知っていますか？「2024年問題」とは、トラックドライバーの「働き方改革」の法律が適用され、現状のまま（速達便等）の運び方が難しくなってしまうことです。

そこで消費者庁・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省は、環境負荷の低減、トラックドライバー不足への対応として、再配達削減に向けた取組みを推進するとともに、4月を「再配達削減PR月間」としています。実は…宅配便の総数のうち約15%が再配達によるものとなっています。CO₂の削減と暮らしやすい生活のために、みんなで意識して取組んでいきましょう♪

宅配便利用時のアクション

年間のCO₂削減量

- ①1回で受け取れる日時・場所を指定しよう
- ②配送状況の通知アプリを活用しよう
- ③まとめ買って配送回数を減らそう
- ④急ぎ便は状況に応じて使い分けよう
- ⑤宅配ボックス、置き配、コンビニ受取り等を活用しよう

7kg/人

※年間72個(月6個程度)の宅配便を、全て1回で受け取った場合



再配達削減PR月間の
詳細はこちらから♪



岡崎市地球温暖化防止隊事務局
【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】
TEL: 0564-23-6786 FAX: 0564-23-6536
Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2024年3月発行